

株式会社 豊田ふるさとセンター (定款)

平成 8年10月24日作 成  
平成 8年10月24日公証人認証  
平成 8年11月 1日会社成立  
平成16年11月 1日組織変更

# 株式会社豊田ふるさとセンター定款

## 第1章 総 則

### (商号)

第1条 当社は、株式会社豊田ふるさとセンターと称する。

### (目的)

第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

1. 米、野菜、きのこ、木炭、木杭類の農林産品の販売及び受託販売
2. 食料品、酒類、清涼飲料水、嗜好飲料及び調味料の販売
3. 農薬、肥料及び種苗の販売
4. 手芸品、工芸品、衣料品及び日用品雑貨の販売
5. タバコ、塩、郵便切手及び収入印紙の販売
6. 菓子類及び惣菜等の製造販売
7. 観光用土産品の販売
8. 飲食店業
9. 温泉利用施設の運営
10. 前号に附帯する一切の事業

### (本店の所在地)

第3条 当社は、本店を山口県豊浦郡豊田町大字中村876番地4に置く。

### (公告の方法)

第4条 当社の公告は、官報に掲載する。

## 第2章 株 式

### (発行する株式の総数)

第5条 当社の発行する株式の総数は、5,000株とする。

### (株券の種類)

第6条 当社の発行する株式は、1株券のみとする。

### (株式の譲渡制限)

第7条 当社の株式を譲渡するには、取締役会の承認を受けなければならない。

(名義の書換)

第8条 当会社の株式につき名義書換を請求するには、当会社所定の書式による請求書に取得者が記名押印し、これに株券を添えて提出しなければならない。譲受以外の事由により株式を取得した者は、株式のほかにその事由を証する書面を提出しなければならない。

(質権の登録及び信託財産の表示)

第9条 当会社の株式について質権の登録又は信託財産の表示を請求するには、当会社所定の書式による請求書に当事者が記名押印し、これに株券を添えて提出しなければならない。その登録又は表示の抹消についても同様とする。

(株券の再発行)

第10条 株式の分割・併合、株券の毀損又は汚損等の事由により株券の再交付を請求するには、当会社所定の書式による請求書に請求者が記名押印し、これにその株券を添えて提出しなければならない。株券喪失の事由によるときは、株券喪失登録申請に基づき株券が無効となった後に新株券の発行を請求することができる。

(手数料)

第11条 前条に定める請求をする場合には、当会社所定の手数料を支払わなければならない。

(株主名簿の閉鎖)

第12条 当会社は毎決算期の翌日からその決算期に関する定時総会の終結の日まで、株主名簿の記載の変更を停止する。前項のほか権利者を確定する必要があるときは、2週間前に公告して、一定期間株主名簿の記載の変更を停止することができる。

(株主の住所等の届出)

第13条 当会社の株主及び登録された質権者、信託株式の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当会社所定の書式により、その氏名、住所及び印鑑を当会社に届け出なければならない。届出事項に変更を生じたときも、その事項につき同様となる。

### 第3章 株主総会

#### (招集)

第14条 当会社の定時株主総会は毎決算期の翌日から3ヶ月以内にこれを招集し、臨時株主総会は必要に応じてこれを招集する。

#### (議長)

第15条 株主総会の議長は、社長がこれに当る。社長に事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序により他の取締役が議長となる。

#### (決議の方法)

第16条 株主総会の議決は、法令又は定款に別段の定めのある場合を除き、出席した議決権のある株主の議決権の過半数によってこれを決する。

#### (議事録)

第17条 株主総会の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、議長及び出席した取締役がこれに記名押印する。

### 第4章 取締役、取締役会、及び監査役

#### (取締役及び監査役の員数)

第18条 当会社に取締役5名以内を、監査役2名以内を置く。

#### (取締役及び監査役の選任)

第19条 当会社の取締役及び監査役は、株主総会において、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数の決議によってこれを選任する。取締役の選任については、累積投票によらない。

#### (取締役及び監査役の任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は就任後4年内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。任期満了前に退任した取締役の補欠として、又は増員により選任された取締役の任期は、前任者又は他の在任取締役の任期の残存期間と同一とする。

任期満了前に退任した監査役の補欠として選任された監査役の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

(役付取締役)

第21条 当会社に社長1名を置き、取締役会の決議により取締役の中からこれを選任する。社長は会社を代表し、会社の業務を統括する。また必要に応じて、副社長、専務取締役、常務取締役各若干名を選任することができる。

(取締役会の招集及び議長)

第22条 取締役会は、社長がこれを招集し、その議長となる。社長に事故があるときは、あらかじめ取締役会の定める順序に従って他の取締役がこれに代わる。取締役会の招集通知は、会日の5日前に各取締役に対して招集の通知を発するものとし、緊急の場合にはこれを短縮することができる。

(取締役会の決議方法)

第23条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席しその過半数をもってこれを決する。

(報酬)

第24条 取締役並びに監査役の報酬及び退職慰労金は、取締役の分と監査役の分とを区分して、株主総会の決議をもって定める。

## 第5章 計 算

(営業年度)

第25条 当会社の営業年度は毎年4月1日から翌年3月31日までの年1期とする。

(利益配当)

第26条 利益配当金は、毎営業年度末日現在の株主名簿に記載された株主及び登録質権者に対して支払う。利益配当金はその支払提供の日から満3年を経過しても受領されないときは、当会社は、その支払義務を免れるものとする。

## 第6章 附 則

(設立に際して発行する株式)

第27条 当会社の設立に際して発行する株式の総数は606株とし、その発行価格は1株につき金5万円とする。

(最初の取締役及び監査役の任期)

第28条 当会社の最初の取締役及び監査役の任期は、就任後1年内の最終の決算期に関する定時株主総会終結の時までとする。

(最初の営業年度)

第29条 当会社の最初の営業年度は、当会社の設立の日から平成17年3月31日までとする。

(最初の取締役及び監査役)

第30条 当会社の最初の取締役及び監査役は、次のとおりとする。

取締役 吉本知則、藤岡準二、山口政夫、増田 實

監査役 中丸一彦、白石雅宏

(発起人の氏名、住所及び引受株数)

第31条 発起人の氏名、住所及び発起人が引き受けた株式の数は次のとおりである。

山口県豊浦郡豊田町大字殿敷1918番地1

600株 豊田町 町長 吉本知則

山口県下関市秋根北町4番1号

2株 豊関農業協同組合 代表理事組合長 福 富 壽

山口県豊浦郡豊田町大字矢田219番地1

2株 山口県西部森林組合 組合長 睦田幸雄

山口県豊浦郡豊田町大字西市41番地2

2株 豊田町商工会 会長 増田 實

以上、株式会社豊田ふるさとセンターを設立するために、ここに定款を作成し、  
発起人が次に記名押印する。

平成16年 9月24日

発起人 豊田町 町長 吉本知則

豊岡農業協同組合

代表理事組合長 福富 壽

山口県西部森林組合 組合長 陸田 幸雄

豊田町商工会 会長 増田 質

## 株式会社豊田ふるさとセンター 役員名簿

平成28年8月1日現在

役職名	氏名	備考 (所属団体役職名)	勤務形態
1 社長	妹尾時夫	下関市(元下関市教育委員会学校安全課長)	非常勤
2 取締役	白石孝人	下関市商工会副会長	非常勤
3 取締役	河本肇	下関農業協同組合理事	非常勤
4 取締役	一柳武知	下関市(元下関市特別参与・元下関市役所豊田総合支所長)	非常勤
5 監査役	前田知明	下関農業協同組合豊田町支所長	非常勤
6 監査役	河島正	下関市役所豊田総合支所長	非常勤
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			



第20期

# 経営状況報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

株式会社豊田ふるさとセンター

山口県下関市豊田町大字中村876番地4



# 株 式 会 社 の 概 況

(2016年5月1日現在)

名 称	株式会社 豊田ふるさとセンター		
所 在 地	〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村876番地4 電話 083-767-0241		
設立年月日	平成16年10月1日		
資 本 金	65,800,000 円 下関市 55,000,000 円 下関農業協同組合 5,100,000 円 山口県西部森林組合 600,000 円 下関市商工会 2,600,000 円 豊田梨共同出荷組合 500,000 円 豊田ふるさと市出荷者協議会 500,000 円 企業組合のぞみ会 500,000 円 清流館管理委員会 500,000 円 有限会社豊田あぐりサービス 500,000 円		
業 務 内 容	道の駅「螢街道西ノ市」(物販施設、レストラン、温泉施設等)及びそれに付随する施設の管理運営		
役 員	代表取締役	妹尾 時夫	
	取締役	一柳 武知	
	取締役	河本 肇	
	取締役	白石 孝人	<u>取締役 4名</u>
	監査役	川野 芳雄	
	監査役	菊地 義人	<u>監査役 2名</u>
従 業 員	正社員	16名(含観光協会職員1名)	
	定時社員	11名	
	パートタイマー	19名	
			<u>合計 46名</u>

## 平成 27 年度 道の駅「蛸街道西ノ市」 営業報告書

「蛸街道西ノ市」は山口県内 17 番目の道の駅として、平成 16 年 12 月 14 日の開業以来 10 年を経過していますが、オープン当初よりお客様の要望に応えられる品質・品揃え、また、温泉のある道の駅としても親しまれ、更には、年間を通しての多彩な体験型イベントの開催等により、ここ最近では年間 80 万人を超える皆様に御利用いただいております、順調に来場者数も推移する中、本年度も 85 万人を超える多くのお客様をお迎えし賑わいを創出、そして平成 27 年 10 月 11 日に、総来場者数 900 万人を達成できましたことは、常に交流人口の増加を目指している道の駅「蛸街道西ノ市」は下関市の交流拠点としてはもちろんのこと、地域活性化の役割も果たしているものと思っております。

本年度運営状況は、5 月のゴールデンウィーク・9 月シルバーウィークの大型連休が天候に恵まれたこと、併せて「しものせき道の駅商品券」の販売による消費喚起により、売上額においては前年度対比で約 4% の微増、そして経費である灯油価格の下落等により水道光熱費が減額できたことから、当期純利益が得られ経営の健全化を図ることができました。

今後も、新鮮な野菜・果物の品揃え、6 次産業の商品開発、ランチバイキング・ジビエ料理の充実、そして温泉、更には手づくりの定期的なイベントの開催等「蛸街道西ノ市」の特性を生かすことで、多くのお客様に「蛸街道西ノ市」へ何度でも行ってみたいとなる、そうしたお客様への「憩いの場」を提供し交流拠点としての役割を十分に果たし一層の集客を図り、豊田地域はもとより下関市全体の活性化に努めてまいります。

平成 27 年度株式会社豊田ふるさとセンター

会議等開催状況

日時	内容	場所
平成 27 年 5 月 15 日	第 67 回取締役会 第 19 期株主総会 第 68 回取締役会	蛭街道西ノ市 会議室
平成 27 年 7 月 16 日	第 69 回取締役会 第 20 期臨時株主総会	蛭街道西ノ市 会議室
平成 27 年 10 月 8 日	第 70 回取締役会	蛭街道西ノ市 会議室
平成 27 年 11 月 6 日	第 71 回取締役会	蛭街道西ノ市 会議室
平成 28 年 2 月 18 日	第 72 回取締役会	蛭街道西ノ市 会議室
平成 28 年 3 月 25 日	第 73 回取締役会	蛭街道西ノ市 会議室

## 平成 27 年度イベント開催状況

種類	件数	種類	件数
西ノ市	12	ゲームイベント	67
芸能イベント	9	体験イベント	20
餅まきイベント	31	占いイベント	53
わくわくサンデー祭	12	記念イベント	3
出店	853	その他のイベント	12

計：1072

ゲームイベント：ホールインワンゲーム、輪投げ、ピンポン玉ダーツ、ストラックアウト、ピンポン玉射的、竹とんぼダーツ、竹とんぼ選手権、サイコロゲーム、ワカサギ釣り、玉入れゲーム、コマ・バトルロイヤル等

記念イベント：900万人達成記念イベント、オープン11周年、誕生祭

季節イベント：こどもの日ちびっ子お餅まき、さつき展、そーめん流し、夏の感謝祭、梨の皮むき競争、雑煮ふるまい、書初め大会、新春餅つき、ジャンボ鏡開き、節分豆まき、バレンタインイベント等

芸能イベント：フラダンス、バンド演奏、マジックショー、津軽三味線、石見神楽等

その他：道の駅商品券販売イベント、平田投手応援イベント、梨の花ウォーク、ホテル祭り、梨まつり、豊田町ジビエまつり、蛍街道 BBQ ガーデン等

## 平成 27 年度 レストラン万作企画料理件数

月	件数	月	件数
4月	2	11月	4
5月	4	12月	3
6月	5	1月	5
7月	5	2月	3
8月	6	3月	3
9月	3	西ノ市	12
10月	3	肉の日	12

計：70

イベント：GW ハーフバイキング、SW ハーフバイキング、ホテルディナーバイキング、クリスマスハーフバイキング、ランチバイキング7周年祭(バイキング1000円デー)、激辛の日、肉祭り、麺の日、イタリアンの日、天ぷらの日、ジビエの日、スタミナの日、芋の日、イチゴの日、チョコの日、桜の日、中華の日等

# 貸借対照表

商号 株式会社 豊田ふるさとセンター

代表者 妹尾 時夫

平成28年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
I 流 動 資 産	( 136,600,475 )	I 流 動 負 債	( 41,835,510 )
現金及び預金	125,915,966	買掛金	22,452,177
たな卸資産	6,070,094	未払掛金	16,669,235
前払費用	291,346	未払法人税等	182,500
未立貸倒引当金	4,344,929	未預り消費税	2,377,000
	17,140		154,598
	△ 39,000		
II 固 定 資 産	( 19,164,832 )	II 固 定 負 債	( 673,300 )
有形固定資産	( 8,472,412 )	長期未払債金	673,300
建物	870,174		
機械及び装置	3,420,552		
車両運搬具	1,727,889		
工具、器具及び備品	418,444		
建設資産	764,559		
リース資産	678,300		
一括償却資産	592,494		
無形固定資産	( 72,800 )		
電 話 加 入 権	72,800		
		負債の部合計	42,513,810
III 繰 延 資 産	( 0 )	( 純 資 産 の 部 )	
		I 株 主 資 本	( 113,251,497 )
		1. 資 本 金	65,800,000
		2. 資 本 剰 余 金	( 0 )
		3. 利 益 剰 余 金	( 47,451,497 )
		(1)利 益 準 備 金	10,394,800
		(2)そ の 他 利 益 剰 余 金	( 37,056,697 )
		修 繕 積 立 金	10,000,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	27,056,697
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	( 0 )
		III 新 株 予 約 権	( 0 )
		純 資 産 の 部 合 計	113,251,497
資 産 の 部 合 計	155,765,307	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	155,765,307



Y72142

損益計算書

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

商号 株式会社 豊田ふるさとセンター

(単位：円)

科 目		金 額	
I	売上の高収入	513,376,710	527,534,063
	道の駅売上の高収入	7,686,800	
	施設管理受託料収入	3,717,439	
	自動販売機手数料収入	2,753,114	
II	売上の原価	309,797,756	3,806,016
	期首仕入れ		309,797,756
	期末仕入れ		313,603,772
	売上総利益		4,632,882
			308,970,890
			218,563,173
III	販売費及び一般管理費		217,648,442
			914,751
IV	営業外収入		46,462
営業外配当			1,900
営業外雑収入			5,979,057
			6,027,419
V	営業外費用		71,241
			71,241
経常利益			6,870,909
VI	特別利益	60,000	60,000
特別利益			
特別損失			
特別損失		13,529	13,529
税引前当期純利益			6,917,380
法人税、住民税及び事業税		192,075	192,075
当期純利益			6,725,305



販売費及び一般管理費の計算内訳

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位：円)

科	目	金額
販売員	給件	69,290,119
外注	旅費	4,079,438
販売	伝費	106,019
広告	材費	854,604
販売	資材	1,985,632
発送	配達	931,151
衛生	配管	7,505,352
販売	促進	9,368,200
イベント	費	1,514,850
役員	報酬	1,890,000
従業	員賞	9,243,620
法定	福利	9,408,409
厚減	生償	8,471,739
地価	却	1,388,978
修繕	代家	895,190
事務	繕	4,101,095
通信	用品	499,121
水道	交通	685,964
租税	光熱	61,303,679
寄附	公課	11,591,300
接待	交際	3,000
備品	除際	166,220
管理	諸	651,310
管貨	借	6,993,332
警備	委託	3,314,725
研修	費	396,045
貸倒	等	362,880
雑	却	24,800
合	費	39,000
	計	582,670
		217,648,442

たな卸資産の計算内訳

平成28年 3月31日現在

(単位：円)

科	目	金額
商原	品	1,832,929
材	料	2,799,953
貯蔵	品	1,437,212
合	計	6,070,094

# 株主資本等変動計算書

P-1

商号 株式会社 豊田ふふるさとセンター

平成27年 4月 1日から 平成28年 3月31日まで

(単位：円)

	株主資本							株主資本合計	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計				
	資本準備金	資本剰余金 その他	利益準備金	利益剰余金 その他							
資本金											
当期首残高	65,800,000	0	0	10,394,800	30,331,392	0	106,526,192	0	0	106,526,192	
当期変動額											
当期純利益					6,725,305		6,725,305			6,725,305	
当期変動額合計	0	0	0	0	6,725,305	0	6,725,305	0	0	6,725,305	
当期末残高	65,800,000	0	0	10,394,800	37,056,697	0	113,251,497	0	0	113,251,497	

■ その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書

(単位：円)

	その他資本剰余金の内訳			その他利益剰余金の内訳					
	資本金及び資本準備金減少差益	自己株式処分差益	その他資本剰余金合計	修繕積立金				繰越利益剰余金	その他利益剰余金合計
当期首残高	0	0	0	10,000,000				20,331,392	30,331,392
当期変動額									
当期純利益								6,725,305	6,725,305
当期変動額合計	0	0	0	0				6,725,305	6,725,305
当期末残高	0	0	0	10,000,000				27,056,697	37,056,697

## 個別注記表

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

## II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却方法
  - (1)有形固定資産  
定額法を採用しております。
  - (2)リース資産  
定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準
  - (1)貸倒引当金  
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。
4. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

## III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 16,900,790円

## IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 1,316株

## V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、86,057.36円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、5,110.41円であります。

以上

平成27年度

第20期株式会社豊田ふるさとセンター

監査報告書

(株)豊田ふるさとセンターの監査を、平成28年5月13日 16  
時より道の駅で実施し、関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類を照合審  
査した結果、決算報告書の内容と相違ないことを認める。

平成28年5月13日

株式会社豊田ふるさとセンター

監査役 川野 芳雄

菊地 義人

平成 27 年度株式会社豊田ふるさとセンター利益処分

1、前期繰越利益剰余金	20,331,392 円
2、当期純利益	6,725,305 円
3、繰越利益剰余金	27,056,697 円

貸借対照表及び損益計算書により、上記のとおり当期末において利益生じましたが、金 27,056,697 円の処分について株主に対して 658,000 円の配当を行い 65,800 円を利益準備金として積み立てます。

平成 28 年 5 月 18 日

株式会社豊田ふるさとセンター  
代表取締役 妹尾 時夫

## 平成 28 年度 道の駅「蛸街道西ノ市」営業計画書

下関市の交流拠点である道の駅「蛸街道西ノ市」は平成 16 年 12 月 14 日の開業から順調に来場者数が推移する中、昨年度も 85 万人を超える皆様に御利用頂き、昨年 10 月には総来場者数 900 万人を達成いたしております。

今後とも安定的に多くのお客様にお越しいただくことが、道の駅はもちろんのこと周辺地域の活性化に欠かせません。そのためには現状に満足することなく、道の駅の 3 つの機能でもある「休憩」「情報発信」「地域の連携」これらを十分に機能させ、お客様が安心して利用できる快適な休憩施設、また道路情報はもちろんのこと観光、各種イベント等の情報提供、そして活力ある地域づくりのための地域連携で、一日中楽しめ休憩もできる道の駅、これらの対応で交流人口の拡大につなげ交流拠点としての役割を担っていきます。

現在、山口県内の道の駅は 10 の市と町で 23 ヶ所、中国地方では 100 ヶ所あり、数では島根県の 28 ヶ所に次ぐ多さとなっております。今後とも長門市に来年の秋頃のオープンが予定されており、道の駅間の競争は厳しさを増すばかりです。

取組としては、今後とも地域の特性を生かしつつ、下関市道の駅連絡協議会の「きくがわ」「北浦街道豊北」等とも連携することを検討したい。

また、道の駅「蛸街道西ノ市」も開業以来 10 年を経過していることから老朽化対策が緊急課題で、今後リニューアルによる施設改善が急がれます。

近年、大変厳しい運営状況が続いていますが今後も省エネ対策・委託業務の改善等あらゆる経費の見直し、前途の取組を更に充実させることで経営の健全化を図っていきます。

また、今迄の取組を充実することで更なる交流人口の増加に努め交流拠点としての位置づけを強固にして豊田地域はもとより下関市全体の活性化に努めていきます。

平成28年度 目標損益計算書

株式会社 豊田ふるさとセンター

(単位：円)

勘定科目名		28年度計画(A)	27年度実績(B)	差額(A-B)	備考
売上高	道の販売上	4111	500,000,000	513,376,710	-13,376,710
	施設管理受託収入	4112	7,686,800	7,686,800	0
	自動販売機手数料	4113	3,800,000	3,717,439	82,561
	手数料収入	4114	2,500,000	2,753,114	-253,114
	純売上高		513,986,800	527,534,063	-13,547,263
売上原価	期首たな卸高	5111	4,632,882	3,806,016	826,866
	商品仕入高	5211	301,196,000	309,797,756	-8,601,756
	期末たな卸高	5311	4,632,882	4,632,882	0
	当期売上原価		301,196,000	308,970,890	-7,774,890
	売上総利益		212,790,800	218,563,173	-5,772,373
販売費及び一般管理費	販売員給与	6111	71,000,000	69,290,119	1,709,881
	外注人件費	6311	4,000,000	4,079,438	-79,438
	販売員旅費	6112	100,000	106,019	-6,019
	広告宣伝費	6113	800,000	854,604	-54,604
	販売資材費	6114	1,800,000	1,985,632	-185,632
	発送配達費	6115	900,000	931,151	-31,151
	衛生管理費	6116	7,000,000	7,505,352	-505,352
	販売促進費	6117	9,000,000	9,368,200	-368,200
	イベント費用	6118	1,000,000	1,514,850	-514,850
	役員報酬	6211	1,890,000	1,890,000	0
	従業員賞与	6213	6,500,000	9,243,620	-2,743,620
	法定福利費	6312	9,000,000	9,408,409	-408,409
	厚生費	6226	6,300,000	8,471,739	-2,171,739
	減価償却費	6214	2,903,000	1,388,978	1,514,022
	地代家賃	6215	895,190	895,190	0
	修繕費	6216	2,000,000	4,101,095	-2,101,095
	事務用消耗品費	6217	500,000	499,121	879
	通信交通費	6218	600,000	685,964	-85,964
	水道光熱費	6219	62,000,000	61,303,679	696,321
	租税公課	6221	11,639,100	11,591,300	47,800
	寄付金	6222	3,000	3,000	0
	接待交際費	6223	100,000	166,220	-66,220
	保険料	6224	651,310	651,310	0
	備品・消耗品費	6225	5,000,000	6,993,332	-1,993,332
	管理諸費	6227	3,400,000	3,314,725	85,275
	賃借料	6228	396,315	396,045	270
	警備委託費	6229	362,880	362,880	0
研修費等	6313	30,000	24,800	5,200	
貸倒償却	6314	0	39,000	-39,000	
雑費	6231	500,000	582,670	-82,670	
	販売費及び一般管理費計		210,270,795	217,648,442	-7,377,647
	営業利益(損失)		2,520,005	914,731	1,605,274
営業外収益	受取利息	7111	40,000	46,462	-6,462
	受取配当金	7114	1,900	1,900	0
	雑収入	7118	2,000,000	5,979,057	-3,979,057
	小計		2,041,900	6,027,419	-3,985,519
	営業外費用雑損失		0	71,241	-71,241
	経常利益(損失)		4,561,905	6,870,909	-2,309,004
	特別利益固定資産売却益		0	60,000	-60,000
	特別損失固定資産売却原価		0	13,529	-13,529
	税引前当期純利益(損失)		4,561,905	6,917,380	-2,355,475
	法人税・住民税及び事業税		845,000	192,075	652,925
	当期純利益		3,716,905	6,725,305	-3,008,400